

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第39号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年2月23日 10時10分ごろ	
発生場所	福岡県糸島市 糸島半島東方沖 烏帽子島灯台から真方位156° 7, 800m付近 (概位 北緯33° 36.0′ 東経130° 01.3′)	
事故等調査の経過	平成22年3月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 漁船 第2幸洋丸、14.56トン FO2-5792（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B 漁船 甚福丸、8.36トン FO2-5904（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、一級小型船舶操縦士・特殊・特定</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士・特殊・特定</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 船首材擦過傷</p> <p>B 船体右舷中央部外板破損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長ほか1人が乗り組み、漁場の移動のため、真方位約100°の針路及び約11ノットの速力で自動操舵により航行中、B船は、船長ほか1人が乗り組み、船首を南西方に向け、いかかごを揚げながらわずかに前進中、平成22年2月23日10時10分ごろ、糸島半島東方沖において、A船船首部とB船右舷中央部が衝突した。</p> <p>A船は、救助に来援した僚船とともにB船と同行して福岡県船越港に帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：海上平穏、潮汐：上げ潮の初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、糸島半島東方沖を東進中、船長Aが、周囲の適切な見張りを行わなかったことから、船首方のB船に気付かなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、漁ろうに従事して南西進中、船長Bが、接近するA船が知人の船なので様子を聞きに来るものと思い、自船の存在を知らせることや、回避動作をとらなかつたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、糸島半島東方沖において、A船が東進中、B船が漁ろうに従事して南西進中、A船が適切な見張りを行わず、また、B船が接近するA船を知人が様子を見にくるものと思い込んだため、両船が衝突したことに	

	より発生したものと考えられる。
--	-----------------